

3年生 全国学力・学習状況調査

平成30年4月17日に実施された全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。今年度は、「国語A・B」・「数学A・B」「理科」の3教科、5分類の調査が実施されました。A問題は、身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題です。B問題は、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題です。学力調査の結果では、全国標準と比較すると、国語Aと理科は、「同程度」、国語B、数学A・Bとも「努力を要する」結果となりました。

【国語の分析】

文意に合うように適切な語句を選択することはできるが、主語を明らかにし文の組み立てを考えながら、正確に修飾語を整理して書くことが苦手である。

【数学の分析】

基本的な四則計算は概ねできているが、グラフや表から資料の特徴を読み取ったり、論理的に考察し、道筋を立てて説明したりすることに課題がある。

【理科の分析】

電流・電圧と抵抗に関する知識・技能を活用することはできるが、地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することが苦手である。

【生徒質問用紙調査の結果】

(1) 全国と比較して割合が高い項目

◎先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれる。

◎1日あたり、スマホやテレビやゲームをしている時間がながい。

(2) 全国と比較して割合が低い項目

◎自分で計画を立てて勉強している。学校の授業を復習している。

【これからの本校の取組】

◎「わかる授業・できる授業」となるよう毎時間振り返りの学習や単元テスト、授業のユニバーサル化に取組、基礎・基本の定着を図ります。

◎自学ノートをより積極的に活用し、家庭での学習習慣の定着を図ります。